　相談票送付先　**メール：**[jinken-chosei@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:jinken-chosei@pref.fukuoka.lg.jp)

**ＦＡＸ：　０９２－６４３－３３２６**

　福岡県福祉労働部人権・同和対策局調整課 調整係　行

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **講師団講師あっせん依頼　事前相談票** | | |
|  |  | |
|  |  | |
| 研修年月日(曜日) | 年　　　月　　　日（　　） | |
|  | 時　　分 ～ 　　時　　分まで | |
|  | 時　　分 ～ 　　時　　分まで（　　時間　　分） | |
|  |  | |
|  |  | |
|  |  | |
| 研修規模（人数） |  | |
|  |  | |
|  |  |  |
| 職・氏名 |  |
| 住　　所 | (〒　　　　　　　) |
|  | （内線　　　　） |
| メール |  |
|  |  |
| (連絡事項など) |  | |

|  |  |
| --- | --- |
|  | ①　　　　　　　②　　　　　　　③ |

※　講師団講師あっせん事業の依頼については、「すばる」1～5ページを熟読の上、この

事前相談票を提出してください。

|  |
| --- |
| **「すばる」**とは  牡牛座にある散開星団。プレアデス星団。  肉眼では六個の星しか見えないので六連星（むつらぼし）ともいった。  漢字は、｢昴｣と書き、一つにまとまるの意の「統（すばる）」から。 |

相談票送付先　**メール：**[jinken-chosei@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:jinken-chosei@pref.fukuoka.lg.jp)

**ＦＡＸ：　０９２－６４３－３３２６**

　福岡県福祉労働部人権・同和対策局調整課 調整係　行

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **講師団講師あっせん依頼　事前相談票** | | |
|  | 福岡県福祉労働部人権・同和対策局調整課 | |
|  | 人権研修会  備考欄を参照してください。 | |
| 研修年月日(曜日) | 令和〇年　〇月　〇日（×）または△日（☐） | |
|  | １３時００分 ～ １６時００分まで | |
|  | １４時００分 ～ １５時３０分まで（１時間３０分） | |
|  | 福岡県庁　地下４号会議室 | |
|  | 福岡市博多区東公園７－７ | |
|  | 地域住民  「研修時間」には研修全体に係る時間を、「講師の講演時間」には講師が講演する時間を記入してください。 | |
| 研修規模（人数） | ５０人 | |
|  | 障がい者の人権問題について | |
|  |  | ○○○ |
| 職・氏名 | 〇〇係長　　○○○○ |
| 住　　所 | (〒８１２－８５７７)  福岡市博多区東公園７－７ |
|  | ０９２－〇〇〇－○○○○（内線〇〇〇） |
| メール | ○○＠○○.○○.○○ |
|  | ０９２－〇〇〇－〇〇〇〇 |
| (連絡事項など) | 研修日の候補日がいくつかある場合は、候補日をそれぞれ記入してください。オンライン研修を希望する場合は、実施方法や収録日時、配信期間等を記載ください。 | |

できるだけ第３候補まで記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 1. ○○○〇講師　②○○○〇講師　③〇○○○講師 |

※　講師団講師あっせん事業の依頼については、「すばる」1～5ページを熟読の上、この

事前相談票を提出してください。

|  |
| --- |
| **「すばる」**とは  牡牛座にある散開星団。プレアデス星団。  肉眼では六個の星しか見えないので六連星（むつらぼし）ともいった。  漢字は、｢昴｣と書き、一つにまとまるの意の「統（すばる）」から。 |

様式第１号（第３関係）

**講師団講師あっせん依頼書**

（企業、地域等あっせん要領）

年　　月　　日

　福岡県知事　殿

依頼者名

　福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団講師あっせん要領（企業、地域等）第３の規定に基づき、次のとおり講師の依頼をします。

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 | 内　　容 |
| 研修実施年月日及び時間 | 年　　　月　　　日  時　　分から 時　　分まで |
| 講師の講演時間 | 時　　分から 時　　分まで |
| 研修場所 |  |
| 所在地 |  |
| 最寄りの駅・バス停等 |  |
| 研修会名称 |  |
| 対象者(参加予定人数) | （　　　人） |
| 研修次第 |  |
| 講師名 |  |
| 希望する講演のテーマ |  |
| 研修担当者名 |  |
| 連絡先 | （電　話）  （ＦＡＸ）  （Email） |

注１　研修場所は、講師が到着できるよう地図を添付してください。

　２　講演の内容は、具体的に記載してください。

３　研修の開催要綱等があれば添付してください。

様式第2号（第5関係）

**研修結果報告書**

（企業、地域等あっせん要領）

年　　月　　日

　福岡県知事　殿

　　　　　　　依頼者名

　福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団講師あっせん要領（企業、地域等）第5の規定に基づき、次のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 | 内　　容 |
| 講師氏名 |  |
| 研修実施年月日及び時間 | 年　　　月　　　日  　　　時　　分から　　　時　　分 |
| 講演時間 | 時間　　　分 |
| 研修場所  （所在地） |  |
| 出席者数 | 人 |
| 対象者 |  |
| 研修次第 |  |
| 講演のテーマ |  |

注　研修レジュメ等を添付してください。

人権・同和問題研修アンケート

今後の人権・同和問題研修に活かすため、アンケートの記入をお願いします。

該当する番号に○印をつけてください。自由記載欄が不足する際は別紙に記入いただいても構いません。

1　あなたのことについて、差し支えのない範囲で記入してください。

あなたの年齢を教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①　19歳以下　　　②　20～29歳　　　③　30～39歳　　　④　40～49歳  ⑤　50～59歳　　 ⑥　60～69歳　　　⑦　70～79歳　　　⑧　80歳以上 |  |

２　本日の研修講師についてお尋ねします。

|  |
| --- |
| （１）　研修の内容は分かりやすかったですか。  　①　分かりやすかった　　　　　　②　おおむね分かりやすかった  ③　あまり分かりやすくなかった　④　分かりにくかった |
| 理由をお書きください。 |
| （２）　使用された研修資料は、研修の内容を理解するために役に立ちましたか。  ①　役に立った　　　　　　 ②　おおむね役に立った  ③　あまり役に立たなかった ④　役に立たなかった |
| 理由をお書きください。 |
| （３）　研修の内容は理解できましたか。  ①　理解できた　　　　　　　②　おおむね理解できた  ③　あまり理解できなかった　④　理解できなかった |
| 理由をお書きください。 |
| （４）　その他、講師にご意見・ご要望があればご記入ください。 |

（裏面に続く）

３　討議についてお尋ねします。（実施した場合のみ回答）

|  |
| --- |
| 〇　討議の内容は理解できましたか。  ①　理解できた　　　　　　　②　おおむね理解できた  ③　あまり理解できなかった　④　理解できなかった |
| 理由をお書きください。 |

４　人権・同和問題啓発映画についてお尋ねします。（上映した場合のみ回答）

|  |
| --- |
| 〇　映画の内容は理解できましたか。  ①　理解できた　　　　　　　②　おおむね理解できた  ③　あまり理解できなかった　④　理解できなかった |
| 理由をお書きください。 |

５　本日の研修に参加して、あなたは人権問題に対する見方・考え方が変わりましたか。

|  |
| --- |
| ①　差別は許せないと思う気持ちに変わりはない、または、改めて思いを強くした。  ②　今まで特に意識していなかったが、今回初めて差別は許せないと思うようになった。  ③　特に関心がなく、気持ちに変化はない。  ④　その他（ 　　　　　　　　 ） |

６　本日の研修に参加して、今後における人権課題の解決に向けたあなたの考えとして近いものは次のうちどれですか。（複数回答可）

|  |
| --- |
| ①　問題解決のため、自分のできる限りの努力をしたい。  　②　正しい知識を身に着けるため、学校での人権教育や行政の人権啓発を積極的に行うとともに、相談に的確に応ずるための相談体制の充実を図る。  ③　差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する。  ④　当事者の問題であるので、自分には直接関係ない。  　⑤　わからない。  　⑥　その他（ 　　　　　　　　 ） |

７　今後、同和問題やその他の人権問題に関し、どの様な研修を希望しますか。（複数回答可）

|  |
| --- |
| （１）【同和問題】同和問題研修に当たり、今後、どのような内容を希望しますか。  ①　歴史　　②　差別の実態　　③　行政の取組　　④　差別当事者の体験に基づく話 |
| （２）【様々な人権問題】様々な人権問題研修に当たり、今後、どの分野を希望しますか。  ①　女性　　　②　子ども　　③　高齢者　 ④　障がいのある人　　⑤　外国人  ⑥　ＨＩＶ感染者　⑦　ハンセン病患者 　⑧　犯罪被害者　⑨インターネットによる人権侵害  ⑩　性的少数者　⑪　その他（　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |
| （３）【研修の手法】どのような研修手法を希望しますか。  　①　講演　　②　討議　　③　映画　　④　その他（　　　　　　　　　） |
| 理由をお書きください。 |
| （４）　今後の研修について、意見・要望があれば記入してください。 |

御協力ありがとうございました。

人権・同和問題研修アンケート集計票

研修主催者

研修の日時、場所　　　令和　　年　　月　　日　　　　　　　時　　分から　　時　　分場所

講師名

研修出席者数　　　　人

※　（　人）に人数を記入してください。本集計票は、研修主催者及び講師に今後より良い研修につなげていただくことを目的としているため、できるだけ多くの理由・意見・感想等を記入してください。

１　研修について

　（１）受講者の年齢

|  |  |
| --- | --- |
| ①　19歳以下（　　人）　 ②　20～29歳（　　人）　③　30～39歳（　　人）  ④　40～49歳（　　人）　⑤　50～59歳（　　人）　⑥　60～69歳（　　人）  ⑦　70～79歳（　　人）　⑧　80歳以上（　　人） |  |

（２）研修の形態（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| ①　講演（テーマ　　　　　　　　　　　） ②映画（名称　　　　　　　　　　　）  ③討議等（テーマ　　　　　　　　　　　） |  |

２　研修講師について

|  |
| --- |
| （1）研修の分かりやすさ |
| ①　分かりやすかった（　　人） |
| 理由 |
| ②　おおむね分かりやすかった（　　人） |
| 理由 |
| ③　あまり分かりやすくなかった（　　人） |
| 理由 |
| ④　分かりやすくなかった（　　人） |
| 理由 |
| （2）使用された研修資料 |
| ①　役に立った（　　人） |
| 理由 |
| ②　おおむね役に立った（　　人） |
| 理由 |
| ③　あまり役に立たなかった（　　人） |
| 理由 |
| ④　役に立たなかった（　　人） |
| 理由 |
| （3）研修の内容 |
| ①　理解できた（　　人） |
| 理由 |
| ②　おおむね理解できた（　　人） |
| 理由 |
| ③　あまり理解できなかった（　　人） |
| 理由 |
| ④　理解できなかった（　　人） |
| 理由 |
| （４）　その他、講師に対する意見・要望 |

３　討議について（実施した場合のみ記入）

|  |  |
| --- | --- |
| 〇　討議の内容 | |
| ①　理解できた（　　人） |
| 理由 |
| ②　おおむね理解できた（　　人） |
| 理由 |
| ③　あまり理解できなかった（　　人） |
| 理由 |
| ④　理解できなかった（　　人） |
| 理由 |

４　人権・同和問題啓発映画について（上映した場合のみ記入）

|  |  |
| --- | --- |
| 〇　映画の内容 | |
| ①　理解できた（　　人） |
| 理由 |
| ②　おおむね理解できた（　　人） |
| 理由 |
| ③　あまり理解できなかった（　　人） |
| 理由 |
| ④　理解できなかった（　　人） |
| 理由 |

５　本日の研修に参加して、人権問題に対する見方・考え方が変わったか

|  |
| --- |
| 1. 差別は許せないと思う気持ちに変わりはない、または、改めて思いを強くした。（　人） 2. 今まで特に意識していなかったが、今回初めて差別は許せないと思うようになった。（　人） 3. 特に関心がなく、気持ちに変化はない。（　　人） 4. その他（ 　　　　　　　　 ）（　人） |

６　本日の研修に参加して、今後における人権課題解決への考え（複数回答可）

|  |
| --- |
| 1. 問題解決のため、自分のできる限りの努力をしたい。（　　人） 2. 正しい知識を身に着けるため、学校での人権教育や行政の人権啓発を積極的に行うとともに、相談に的確に応ずるための相談体制の充実を図る。（　　人） 3. 差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する。（　　人） 4. 当事者の問題であるので、自分には直接関係ない。（　　人） 5. わからない。（　　人）   ⑥　その他（ 　　　 ）（　人） |

７　今後、同和問題や様々な人権問題に関しどの様な研修を希望するか（複数回答可）

|  |
| --- |
| （１）【同和問題】  ①　歴史（　　人）　　　　②　差別の実態（　　人）  ③　行政の取組（　　人）　④　差別当事者の体験に基づく話（　　人） |
| （２）【様々な人権問題】   1. 女性（　　人）　　　　 ②　子ども（　　人）　③　高齢者（　　人）   ④　障がいのある人（　　人）　⑤　外国人（　　人）　⑥　ＨＩＶ感染者（　　人）  ⑦　ハンセン病患者（　　人）　⑧　犯罪被害者（　　人）  ⑨　インターネットによる人権侵害（　　人）　　　　　⑩　性的少数者（　　人）  ⑪　その他（　 　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）（　　人） |
| （３）【研修の手法】 |
| ①　講演（　　人） |
| 理由 |
| ②　討議　（　　人） |
| 理由 |
| ③　映画（　　人） |
| 理由 |
| ④　その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 理由 |
| （４）　今後の研修について、受講者の意見・要望があれば記入してください。 |
| （５）**研修企画担当者としての**今回の研修に関する総括を記入してください。  ※記入にあたっての視点  ・研修内容は、講師との事前の打ち合わせや研修主催者の希望に沿ったものであったか。 |